令和3年度

事業報告書

社会福祉法人 鹿児島市社会福祉協議会

令和3年度 事業報告

近年、核家族化や少子高齢化の急速な進行、住民相互のつながりの希薄化など、地域社会を取り巻く環境はますます厳しさを増し、8050問題やダブルケア、生活困窮者の増加、児童や障害者などへの虐待、社会的孤立など、地域の福祉課題は複雑化・複合化しています。

地域では、人と人との絆が大切にされ、思いやりや助けあいにあふれ、誰もが安心して暮らしていけるまちづくりのための、きめ細やかな福祉が強く求められています。

このような中、未だ終息の見えない新型コロナウイルス感染症の流行は、人々の生活様式 や様々な社会システムをはじめ、地域での福祉活動に対しても大きな影響を及ぼしています。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一部の事業やイベントの中止、 事業規模の縮小などをせざるを得ない厳しい状況下ではありましたが、鹿児島市社会福祉協 議会(以下「本会」という。)では、「第4次地域福祉活動計画」(令和元年度~3年度) (以下「第4次活動計画」という。)に基づき、地域住民や福祉活動を行う関係団体と協力 するとともに、新型コロナウイルス感染症予防対策を徹底した上で、鹿児島市(以下「市」 という。)との連携を緊密に図りながら、地域における福祉課題解決のために様々な事業や コロナ禍に対応した新規事業等を実施しました。

また、新たに鹿児島市地域福祉計画と基本理念「みんながつながり・支え合う 生きがい あふれる福祉のまち かごしま」を共有する「第5次地域福祉活動計画」(令和4年度~8 年度)(以下「第5次活動計画」という。)を策定しました。

一方、「財政改善計画」(当初計画期間:平成30年度~令和4年度)については、おおむ ね所期の目的・目標を達成したことから、期間を1年繰り上げ、令和3年度末をもって終了 しました。

以下、令和3年度の事業の実施状況について報告します。

[重点目標に対する実施状況]

1 地域福祉活動の推進

地域が抱える様々な福祉課題については、「第4次活動計画」に基づき、コロナ禍の中ではありましたが、地域住民や町内会、校区社会福祉協議会(以下「校区社協」という。)、民生委員児童委員協議会(以下「民児協」という。)、地域コミュニティ協議会(以下「コミュ協」という。)、ボランティア団体などの福祉活動を行う関係団体と協力しながら、地域での高齢者等の見守り活動やボランティア活動など地域福祉活動の拡充に努めるとともに、福祉ネットワークづくりに取り組みました。

また、地域福祉活動計画推進委員会を開催し、関係団体からの意見をいただきながら着実な進行管理や評価を行うとともに、市の「第5期地域福祉計画」と連携した「第5次活動計画」を策定しました。

コロナ禍に対応した取り組みとしては、アルバイト収入が減少し、厳しい生活環境下にある学生に対する食糧品の配付、失業等により生活に困窮する方々に対する緊急小口資金等の貸付業務、高齢者の方々のワクチン接種オンライン予約サポートなどを行いました。

2 校区社協活動への支援

地域における福祉活動の中心的役割を担う校区社協に対しては、引き続き、広報紙作成 やふれあい子育てサロンへの助成、研修会の開催、本会のホームページでの活動紹介を行う とともに、校区社協による高齢者世帯の見守り活動の一助となるよう、新たに校区社協を通 じて「安心情報キット」を配付するなど活動への支援を拡充しました。

新型コロナウイルス感染症の影響により、校区社協が事業を中止や延期するなど活動を自 粛せざるを得ない状況の中、活動の継続を図るため他校区社協の活動事例の紹介や事業内容 の変更などに関する助言・支援を行いました。

そのほか、校区社会福祉協議会連絡協議会(以下「校区社協連」という。)に対しては、 校区社協相互の情報共有と交流を図るため、新任会長・事務局長等研修会や地域別の意見交 換会開催等の支援を行いました。

3 支部及び地域福祉館における地域福祉の推進

支部や地域福祉館は、地域における福祉活動の拠点であることから、地域福祉支援員との 連携を図りながら、校区社協等への支援のほか、小地域ネットワーク団体等の登録や地域福 祉支援ルームの運営を行いました。

また、地域福祉館(41館)では、感染拡大防止のため、規模の縮小や参加人数の制限などの工夫を行いながら、福祉館イベントの開催や福祉相談、ボランティア等の出前講座を行うとともに、誰もが気軽に立ち寄れる福祉館サロンや毎日サロンを実施しました。

このほか、各館ごとにイベント情報等を掲載した「福祉館だより」を年4回発行し、町内 会等を通じて地域の方々へ情報提供を行いました。

4 ボランティア活動の振興

ボランティアの登録やコーディネート、研修会の開催等を行うボランティアセンターの運営をはじめ、ボランティア推進校に対する活動費の助成、出前講座の実施や広報紙「ボラセンだより」の発行、ホームページでの情報発信による広報啓発を行うとともに、新たに地域福祉館においても登録できるようにするなどの取り組みを行いました。

また、活動へのきっかけづくりとして「Openingボランティア講座」を試行的に実施しました。

このほか、災害発生時に設置することになる「災害ボランティアセンター」の設置・運営 訓練を「桜島火山爆発総合防災訓練」に合わせて実施するとともに、「設置・運営マニュア ル」の大幅な改訂を行いました。

なお、「わくわく福祉交流フェア」(市との共催)及びサマーボランティア体験事業、社 会人を参加対象としたボランティア体験事業については、感染拡大防止のため中止しました。

5 権利擁護の推進

成年後見センターの管理運営を行う中で、認知症や知的障害、精神障害などにより判断能力が不十分な方々に対して、適切に成年後見制度の利用につながるよう支援を行いました。また、総合的な専門的知見が必要な事案については、専門職団体を構成メンバーとする専門ケース会議により協議し、支援が必要な方々に適した助言や支援につなげるとともに、講演会・講座の開催や地域の研修会等へ出向き、制度の説明を行うなど広報啓発にも取り組みました。

6 介護認定調査の実施

要介護及び要支援の認定を受けようとする申請者の自宅などを認定調査員が訪問し、心身の状況や環境について、公正・中立な調査を実施しました。

7 指定管理者制度導入施設の適正な管理

地域福祉館(41館)、高齢者福祉センター(与次郎、東桜島、谷山、桜島、郡山、吉野、伊敷)、心身障害者総合福祉センター及び吉田福祉センターについては、市との協定に基づき、利用者相互のふれあいや交流を図り、生きがいづくりや健康づくりを支援するなど、適正な管理運営に努めました。

また、高齢者福祉センター及び吉田福祉センターについては、令和3年度末での指定管理 期間の終了に伴い、令和4年度以降の新たな指定管理者としての申請を行い、指定を受けま した。

8 共同募金運動への取組

鹿児島市共同募金委員会と連携し、町内会や校区社協、民児協など各福祉団体とともに 実施しました。

9 広報活動

市民の方々に、地域福祉に対する理解や本会の各種事業への積極的な参加や協力を得られるよう、広報紙「かごしま市社協だより」を年3回発行し、町内会や事業所等に配布するとともに、「社協出前講座」の実施やホームページを活用した情報発信、市の広報紙「市民のひろば」への各種情報の掲載、報道機関への取材依頼等を通じて広報啓発に努めました。また、視覚障害者向けに「音声版社協だより」を作成し配布しました。

10 法人の運営

事業計画及び事業報告、規程改正等重要な事項について審議するため、適宜、理事会及 び評議員会を開催しました。

また、事業実施におきましては、必要な人材及び寄附金や会費、共同募金助成金等の経営 資源の確保に努め、職員に対しては、適切な労務管理と職責や職務内容に応じた研修を実施 し、資質向上を図りました。

なお、「財政改善計画」については、本計画において、重点的に取り組む事項として掲げた介護保険関連事業の廃止等の「事業の見直し」や「経費の削減」等について着実に実施した結果、資金収支及び保有資金は計画時の目標を上回る効果を上げ、所期の目的・目標がおおむね達成されたことから、計画期間を1年繰り上げ、令和3年度末をもって終了しました。

令和3年度 事業報告附属明細書

目次

第1	理事会、評議員会及び評議員選任・解任委員会	. 6
1	理事会の開催	. 6
2	評議員会の開催	. 7
3	評議員選任・解任委員会	. 7
第2	監查	. 8
第3	実施事業の概要	. 9
1	地域福祉活動の推進	. 9
2	校区社協活動への支援	12
3	支部及び地域福祉館における地域福祉の推進	14
4	ボランティア活動の振興	16
5	権利擁護の推進	19
6	介護認定調査の実施	21
7	心身障害者(児)福祉活動の推進	22
8	高齢者福祉活動の推進	23
9	施設の管理運営	24
1	0 生活福祉資金貸付事業	28
1	1 共同募金運動への取組	28
1	2 広報活動	29
1	3 法人の運営	29
第4	相談・苦情の処理状況	32

第1 理事会、評議員会及び評議員選任・解任委員会

1 理事会の開催

理事会の開催 開催日		審議事項
第1回通常理事会	令和3年 5月28日	(報告事項) 報告第1号 令和3年度事業計画の文言修正について報告第2号 職務執行状況について (決議事項) 第1号議案 令和2年度事業報告 第2号議案 令和2年度決算 第3号議案 令和3年度資金収支補正予算(第1号) 第4号議案 任期満了に伴う理事候補者推薦の件 第5号議案 任期満了に伴う監事候補者推薦の件 第6号議案 定時評議員会招集の件 第6号議案 定時評議員会招集の件 第7号議案 評議員の退任に伴う補欠候補者推薦の件 第8号議案 任期満了に伴う評議員候補者推薦の件 第8号議案 任期満了に伴う評議員候補者推薦の件
第2回 通常理事会	6月17日	(決議事項) 議 題 会長、副会長及び常務理事選定の件 第10号議案 顧問選任の件 第11号議案 評議員選任・解任委員会委員の退任に伴う補欠選任の件
第1回臨時理事会	11月26日	(報告事項) 報告第3号 職務執行状況について 報告第4号 鹿児島北年金事務所による社会保険事務に関する調査について 報告第5号 令和元年度会計及び令和2年度会計の決算に係る計算 書類の附属明細書の誤記及びその修正について (決議事項) 第12号議案 財政改善計画一部変更の件 第13号議案 押印を求める手続の見直し等のための関係規程 の整備に関する規程制定の件 第14号議案 報告の省略による臨時評議員会招集の件
第3回通常理事会	令和4年3月18日	(報告事項) 報告第 6 号 職務執行状況について 報告第 7 号 鹿児島市による指導監査について 報告第 8 号 中間監査について (決議事項) 第15号議案 令和3年度収支補正予算(第2号) 第16号議案 役員等賠償責任保険契約締結の件 第17号議案 組織及び事務分掌等に関する規程全部改正の件 第18号議案 組織及び事務分掌等に関する規程の全部改正に 伴う関係規程の整備に関する規程制定の件 第20号議案 職員就業規程等一部改正の件 第21号議案 役員等の報酬等に関する規程一部改正の件 第22号議案 職員の育児・介護休業等に関する規程一部改正の件 第22号議案 職員の育児・介護休業等に関する規程一部改正の件 第22号議案 福祉コニティセンター設置規程等一部改正の件 第24号議案 福祉コニティセンター設置規程等一部改正の件 第25号議案 地域活動支援センター運営規程一部改正の件 第25号議案 市地域福祉活動計画策定の件 第27号議案 令和4年度事業計画 第29号議案 令和4年度事業計画 第29号議案 令和4年度収支予算 第30号議案 苦情解決に係る第三者委員選任の件 第31号議案 臨時評議員会招集の件
第2回 臨時理事会 (決議の省略)	3月28日	(決議事項) 第32号議案 鹿児島市が実施する介護施設ボランティアポイント 事業に係る業務委託契約締結の件

2 評議員会の開催

2 評議貝会の開				
	開催日	審議事項		
定時評議員会	令和3年 6月17日	(報告事項) 報告第1号 財政改善計画の進捗状況について 報告第2号 新型コロナワクチン接種のオンライン予約サポートの実施について (決議事項) 第1号議案 令和2年度事業報告 第2号議案 令和2年度決算 第3号議案 令和3年度資金収支補正予算(第1号) 第4号議案 任期満了に伴う理事選任の件 第5号議案 任期満了に伴う監事選任の件		
第1回 臨時 評議員会 (報告の省略)	(報告事項)報告第3号 財政改善計画の一部変更について報告第4号 本会が取り扱う手続に関する押印の見直しについて報告第5号 生活福祉資金貸付制度における緊急小口資金等の特例措置について報告第6号 令和元年度会計及び令和2年度会計の決算に係る計算書類の附属明細書の誤記及びその修正について			
第2回臨時評議員会	令和 4 年 3 月25日	(報告事項) 報告第7号 生活福祉資金貸付制度における緊急小口資金等の特例措置について 生活福祉資金貸付制度における緊急小口資金等 の特例措置について 報告第8号 高齢者福祉センター及び吉田福祉センターの指 定管理者の指定について 報告第9号 鹿児島市介護施設ボランティアポイント事業の 業務受託について 報告第10号 第5次地域福祉活動計画の策定について 報告第11号 組織機構の見直しについて (決議事項) 第6号議案 令和3年度収支補正予算(第2号) 第7号議案 役員等の報酬等に関する規程一部改正の件 第8号議案 令和4年度事業計画 第9号議案 令和4年度収支予算		

3 評議員選任・解任委員会

	開催日	審議事項	
第1回 評議員選任・ 解任委員会	令和3年 6月10日	(決議事項)第1号議案 評議員の退任に伴う補欠選任の件第2号議案 任期満了に伴う評議員選任の件	

第2 監査

	開催日	監査事項
決算監査 (監事監査)	令和3年 5月11日 5月12日 5月13日	令和2年度中の業務執行及び会計処理状況
内部監査	11月29日 11月30日 12月2日	次の課における業務執行及び会計処理状況 ・ ボランティアセンター ・ 在宅福祉課 ・ 福祉コミュニティセンター ・ 松元支部
中間監査(監事監査)	12月27日 令和4年 1月11日	次の課における業務執行及び会計処理状況 ・ 地域福祉推進課 ・ 在宅福祉課 ・ 市役所分室 ・ 吉田支部 ・ 高齢者福祉センター与次郎 ・ 高齢者福祉センター吉野 ・ 高齢者福祉センター伊敷

第3 実施事業の概要

凡例 []内の数字は、 前年度の実績

1 地域福祉活動の推進

「第4次活動計画」の評価及び「第5次活動計画」の策定を行うとともに、福祉活動を行う団体への支援や福祉功労者の表彰、コロナ禍に対応した事業など様々な取組を行いました。

(1) 地域福祉活動計画の進行管理及び次期計画の策定に向けた取組

ア 地域福祉活動計画推進委員会

	開催日	内容		
第1回	令和3年 10月5日	(1) 第4次活動計画の令和2年度実施状況報告及び令和3年度実施状況について (2) 第5次活動計画素案について		
第2回	令和4年 2月25日	第5次活動計画案について ※新型コロナウイルス感染症(以下「感染症」という。)拡大 に伴い、書面開催		

イ ワーキンググループ会議

	開催日	グループ	内容
第1回	令和3年 6月30日	1~3	(1) 第5次活動計画の体系図(基本目標・推進計画)について(2) 具体的取組(案)の分類イメージについて(3) 活動計画の骨子案に基づく策定イメージについて
第2回	7月27日	4	(1) 第5次活動計画の素案(たたき台)について ① 活動計画の策定にあたって ② 地域福祉を取り巻く現状と課題 ③ 活動計画の内容 ④ 推進にあたって (2) 今後のスケジュールについて
第3回	8月30日	1~3	(1) 第5次活動計画の素案について ① 活動計画の策定にあたって ② 地域福祉を取り巻く現状と課題 ③ 活動計画の内容 ④ 推進にあたって (2) 今後のスケジュールについて ※感染症拡大に伴い、書面開催
第4回	10月29日	4	(1) 地域福祉活動計画推進委員会における活動計画 素案について(報告)(2) 第5次活動計画の数値目標の設定について(3) 第5次活動計画の関係資料の内容について 用語解説、各種アンケート調査の結果等
第5回	令和4年 1月18日	1~4	第5次活動計画案について

(2) 福祉学びあい講演会・講座の開催

市民が地域福祉への関心を深め、福祉活動への参加と活動の担い手の掘り起こしにつなげることで地域福祉活動の活性化を図るため、講演会及び講座を開催しました。

ア 講演会

_	M3XL		
Ī	内容	開催日	参加人数
	講話: 「コロナ禍の今こそ支え合いを考えよう 〜あなたは地域で「助けて」と言えますか?〜」 講師:ご近所福祉クリエーター 酒井 保 氏	令和3年 12月26日	46 [79]

イ 講座

内容	開催日	参加人数
講演①:「地域の拠点づくり」		
講師 :チアリップル 代表 大脇 裕美 氏		
講演②:「住民が気軽に集まれる場」	令和4年	41
講師 : てのんでかふぇ 発起人 池端 てるみ 氏	3月26日	[41]
講演③:「「食」を通じた支え合いの場づくり」		
講師 : みんなでごはんの会 会長 土生 さとみ 氏		

(3) 子ども食堂への支援

子どもが安心して過ごせる地域社会の形成と食を通じた地域とのふれあいにより、子どもの心身ともに健やかな育成を図ることを目的とした子ども食堂を運営する団体に対して、事業に要する費用の一部を助成するとともに、ホームページによる広報等により、子ども食堂の安定的かつ継続的な運営を支援しました。

助成団体数	16[12]
-------	--------

(4) 民間福祉団体に対する助成

福祉活動の推進に努めている民間福祉団体及び大会に対し、助成金を交付しました。

助成対象	件数
市地区民児協	50[50]
市単位高齢者クラブ	314[308]
第67回全国視覚障害女性研修大会(県視覚障害者団体連合会)	1[0]

(5) 地域福祉活動助成

共同募金運動に協力した町内会等の団体に対して、助成金を交付しました。

助成対象	件数
町内会等	570[579]
市地区民児協	42[50]

(6) 車椅子の貸出

家庭や外出などで一時的に車椅子が必要な方に、貸出を行いました。

場所		貸出台数
本部	ほか	212
	吉田	5
支	桜島	12
部	喜入	3
ПЬ	松元	11
	郡山	23
地域福祉館		186
合計		452
Î	⊐	[364]

使用目的	貸出台数
家族等介助	361
福祉等イベント	12
総合学習(学校)	79

(7) コロナ禍に対応した事業の実施【新規】

ア ステイホームで湯ったり気分♪高齢者入浴剤贈呈事業

ご自宅に居ながら少しでも温泉気分を味わっていただこうと、70歳以上の高齢者の みの世帯に対し、温泉入浴剤を贈呈しました。

贈呈世帯数	1,000
7G	2,000

イ コロナ禍の学生にエール!食糧支援事業

アルバイト収入減等により困窮する学生を支援するため、食糧品を配付しました。

配付人数	実施回数	配付内容
1,370	2	県産米(3kg)、レトルトカレー、インスタント味噌汁 等

ウ 新型コロナワクチン接種オンライン予約サポート

高齢者の方々が少しでも円滑にワクチン接種の予約ができるように、オンライン予約のサポートを実施しました。

支援人数	実施回数	
652	3	

エ 鹿児島市プレミアムポイント事業利用支援

高齢者の方々が、市プレミアムポイント事業を利用する際のスマートフォン操作の サポートを実施しました。

(8) 「かごしまおもいやりネットワーク事業」への参加

県社会福祉法人経営者協議会が中心となり、社会福祉法人が連携して生活困窮者に対する相談や支援活動を行う「かごしまおもいやりネットワーク事業」に参加しました。なお、受付等の実績はありませんでした。

受付・支援件数 0[2]

(9) 福祉功労者表彰式の開催

社会福祉の増進に貢献し、その功績が顕著な方々を表彰しました。

- 開催日 令和3年12月3日
- ・場 所 かごしま市民福祉プラザ5階 大会議室

73 /	物が			
	区分	人数	団体数	
	民生委員・児童委員	143		
	校区社協の役職員	4		
丰	民間社会福祉事業関係団体等の役職員	_		
表彰	本会の役員			
彰 状	共同募金運動奉仕者			
1八 の	ボランティア活動	5	4	
部	社会福祉事業関係団体等	1	2	
ㅁㅂ	自立生活者	1		
	合計	152	6	
	日前	[27]	[8]	
-1.	特別功労者	_		
感	寄附(個人・団体)	10	14	
謝状	会費	_	_	
の	共同募金運動(個人・団体)		10	
部	合計	10	24	
HIP	日前	[13]	[57]	

(10) 災害罹災者への見舞品支給

災害(火災、暴風、豪雨等)により被害を受けた罹災者に、見舞品を支給しました。

災害種別	見舞品	件数
火災	タオルセット	28[11]

2 校区社協活動への支援

地域における福祉活動の中心的役割を担う校区社協の活動を活性化させ、校区社協相互 の連携を図り、地域福祉の更なる増進に努めるため、校区社協連の運営支援、各校区社協 が行う活動の支援、助成等を行いました。

また、乳幼児を持つ親同士の相談や交流の場として、校区社協が主体となって開催する「ふれあい子育てサロン」に対して活動費を助成するとともに、校区社協、民生委員・児童委員等のサロン開催に関わる方々を対象とした研修会を開催しました。

さらに、高齢者世帯を対象にした救急時の迅速な対応及び地域での見守り活動のきっかけづくりにつなげるため、校区社協を通じて希望する世帯に「安心情報キット」を配付する取組を実施しました。

(1) 校区社協連の運営支援

ア 会議開催の支援

校区社協連の総会、幹事会の開催を支援しました。

	回数(時期)	内容
総会	1回(令和3年4月)	(会議の内容)
	第1回(4月)	令和2年度校区社協連活動報告について 令和3年度校区社協連活動計画(案)について 第5次活動計画策定の進捗状況について 役員の選出について
幹事会	第2回(7月)	校区社協連テーマ別研修会 先進地視察研修 安心情報キット配付事業 今後の校区社協連会議等のスケジュール 新任会長・事務局長等研修会アンケート結果
	第3回(11月)	・ 令和3年度 校区社協連 活動経過報告・ 令和3年度 地域別意見交換会・ 令和4年度 校区社協連 活動計画(概要案)

イ テーマ別研修会

校区社協の活動をより具体的に進めていくために、テーマ別研修会の開催を支援しました。

内容	開催日	参加 校区数	参加 人数
講話:「児童虐待への対応について〜地域でできること〜」 講師:県社会福祉士会 滝沢 直子 氏	令和3年 8月2日	39	59
(スクールソーシャルワーカー)	8月5日	21	40
	合計	60	99

(2) 各校区社協活動推進のための支援

ア 校区社協の状況

	構成数
校区社協	73[73]

イ 校区社協への支援状況

内容	校区社協数
○ 活動費の助成	73
各校区の実情にあったきめ細やかな地域福祉活動の推進を図るため、校区社協に活動費の一部を助成	[73]
○ 広報紙作成費の助成	57
広報紙を発行している校区社協に、作成費の一部を助成	[53]
○ 広報用資材購入費の助成活動を広報するために作製する横断幕、のぼり旗、ジャンパーなどの作製費の一部を助成	25 [37]

内容	校区社協数
○ ホームページにおける各校区社協の活動紹介	
73校区社協ごとの広報用ページの内容を随時更新し、広報を支援	
○ 支え合いマップ作成の推進	
住民同士が話し合った要支援者等の情報を地図上に表し、地域の	5
福祉課題の把握・解決や見守り活動の更なる充実を図ることを目的	[4]
とした支え合いマップ作成を推進するための研修会を実施	
○ 「安心情報キット」の配付【新規】	
プラスチック製容器(キット)に対象者の医療情報を記載する用	17
紙等を入れて冷蔵庫に保管する「安心情報キット」を、校区社協を	(761セット)
通じて希望する高齢者世帯に配付	

ウ 校区社協地域別意見交換会の開催

校区社協相互の情報共有と交流を図るため、市内を8つの地域に分けて意見交換会を開催しました。

	校区社協名	校区数	参加 人数	開催日	会場	
1	荒田・八幡・中郡・紫原・西紫原・宇 宿・鴨池・南・山下	9	16	令和3年 12月17日	かごしま 市民福祉プラザ	
2	東谷山・清和・中山・桜丘西・桜丘 東・宮川・皇徳寺	7	12	12月20日		
3	谷山・和田・西谷山・錦江台・福平・ 星峯西・星峯東	7	13	12月20日	谷山サザンホー ル	
4	松元・東昌・春山・石谷・瀬々串・中名・ 喜入・一倉・前之浜・生見・平川・錫山	12	21	令和4年 1月13日		
5	川上・吉野・吉野東・大明丘・吉田・ 本城・本名・宮・牟礼岡・郡山	10	16	1月19日	吉田福祉センタ	
6	坂元・坂元台・清水・大龍・名山・松 原・草牟田・原良・中洲	9	14	1月21日	かごしま	
7	明和・西田・武岡・武岡台・西陵・広 木・武・田上・東桜島・桜島・城南	11	18	1月15日	市民福祉プラザ	
8	伊敷・伊敷台・花野・西伊敷・小山 田・犬迫・玉江・皆与志	8	※ 中止	1月26日	伊敷公民館	
	合計	73	110			

[※]伊敷地域は、感染症拡大防止のため中止

(3) ふれあい子育でサロン活動に対する支援

ア 活動費の助成

内容						校区社協数
諸謝金、	会議費、	保険料、	広報費、	会場借上料	等	61[61]

イ 研修会の開催

内容	開催日	参加人数
講話:「広げよう子育ての輪〜コロナ禍における子育て支援〜」 講師:社会福祉法人鹿児島市社会事業協会やくし乳児院 院長 山里 千佳子 氏 ※感染症対策として、午前と午後に分けて開催	令和3年 7月30日	86[93]

(4) 介護講習会開催の支援

校区社協が開催する介護講習会について、高齢者や病気療養者、認知症の高齢者等の 介護に役立つよう、介護技術等の実技指導を含めた支援を行いました。

開催回数	校区社協数	参加人数
31	28	632 [846]

3 支部及び地域福祉館における地域福祉の推進

地域住民の交流や文化活動の場としての利用に加えて、福祉活動を推進する拠点施設として、小地域ネットワーク活動(校区社協、町内会等の地域の団体又は個人が連携して行う福祉活動)やボランティア活動の支援、福祉に関する相談への対応等に取り組みました。

(1) 小地域ネットワーク活動への支援

校区社協や地域福祉支援員と連携し、小地域ネットワーク活動の活性化を図るための支援を行いました。

ア 小地域ネットワーク活動を行う団体の登録状況

(ア) 本部・支部

(単位:件)

(7) 本即"文即" (中位・							<u>- 加・</u> 十/
atai≑□	스크	↓ ☆17	支部				
内訳	合計	本部	吉田	桜島	喜入	松元	郡山
団体数	81 [76]	_	15	7	14	26	19
人数	17,012 [16,257]	_	2,694	2,024	3, 196	6,244	2,854
団体間の連絡会等実施	119	86	1	0	4	28	0
団体に関する情報の収集	409	338	0	0	47	5	19
団体からの相談への対応	62	31	0	2	15	11	3
活動への助言等	189	143	7	0	10	12	17
活動団体との橋渡し	14	12	0	2	0	0	0
共催イベントの企画	8	8	0	0	0	0	0
団体の会合等への参加	271	164	9	31	28	37	2
事務作業への助言等	655	175	72	177	64	113	54
人材の掘起し	1	1	0	0	0	0	0
その他	450	379	0	0	67	4	0
合計	2,178 [2,199]	1,337	89	212	235	210	95

(1) 地域福祉館

団体数	455[473]
人 数	158, 146[168, 957]

イ 支援ルームの提供

小地域ネットワーク活動を行う団体等に対して、事務作業や情報交換、資料の整理 保管等を行うために支援ルームを提供しました。

内訳	団体数
小地域ネットワーク活動団体	1, 228
その他の団体	838
合計	2,066 [2,196]

(2) ボランティア活動への支援

ボランティア活動に関する情報の提供や団体等の登録受付等、ボランティア活動の活性化を図るための支援を行いました。

相談件数	登録件数
1	225[250]

(3) 福祉に関する相談・情報提供

福祉全般に関する相談に応じ、必要な場合は各専門機関への橋渡しを行いました。

ア 本部・支部における受付状況

(単位:件)

内訳		合計	本部			支部		
		日間	中司	吉田	桜島	喜入	松元	郡山
	受付件数	122 [80]	45	10	9	41	6	11
	生計	29	8	0	1	17	3	0
相	教育	1	1	0	0	0	0	0
談	職業・生業	4	4	0	0	0	0	0
事	家族	6	3	0	0	1	0	2
項	障害者福祉	12	6	0	0	5	0	1
別	健康・保健衛生	6	5	0	0	1	0	0
0)	財産	0	0	0	0	0	0	0
内	人権・法律	0	0	0	0	0	0	0
訳	高齢者福祉	28	7	8	6	2	1	4
	その他	36	11	2	2	15	2	4

イ 地域福祉館における受付状況

马 什	565[329]
文门什奴	JUJ[J4J]

(4) サロン実施状況

地域住民の居場所づくりを目的に、地域福祉館において、ボランティアが主体となり 運営する福祉館サロンや、地域福祉館のロビー等をいつでも気軽に集える場所として活 用した毎日サロン「かたいもんそ」を実施しました。

内訳	実施館数	利用人数
福祉館サロン	15[15]	2,436[2,891]
毎日サロン「かたいもんそ」	36[36]	5,719[5,347]

(5) 地域福祉館ネットワーク団体会議等開催状況

地域福祉館が中心となり、ネットワーク団体間の連携を深めることを目的にした地域福祉館ネットワーク団体会議や清掃活動等の合同イベントを開催しました。

内訳	開催館数
地域福祉館ネットワーク団体会議	4[6]
ネットワーク団体との合同イベント	8[7]

(6) 地域福祉支援員活動事業(市から受託)

ア 地域福祉支援員による支援

地域福祉支援員については、市内を六つのブロックに分け、かごしま市民福祉プラザ及び谷山ステーションにそれぞれ3人を配置して、校区社協や町内会、地区民児協と連携を図りながら、地域福祉ネットワークの拡充について支援を行いました。

	内訳	件数
地	1域の情報の把握・情報提供等	7,960
	小地域ネットワーク活動	4,430
	地域福祉館との連携	1,322
	その他(子育てサロン等)	2,208
寸]体や個人からの相談	2,506
福祉マップ作成支援		70
	合計	10,536[14,705]

イ 校区社協の見守りネットワーク活動への支援状況

ひとり暮らしの高齢者の孤独死防止等のため、安否確認が必要と思われる方々に対する声かけや目配り・気配り等の見守り活動についての助言指導を行いました。

校区社協数 59[59]

4 ボランティア活動の振興

(1) ボランティアセンターの運営

ボランティア活動を通じて地域住民の福祉に関する理解と関心を高め地域福祉の向上に寄与するとともに、広く市民のボランティア活動の振興を図るため、ボランティアセンターを運営しました。

ア 開館日数・来館者数

内訳	合計	* 立 [7	支部				
四十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二	白浦	本部	吉田	桜島	喜入	松元	郡山
開館日数	_	243	297	297	242	242	297
延利用人数	35,538[36,613]	35, 159	39	62	31	83	164

イ ボランティアコーディネート(橋渡し)の実施

活動を行う個人・団体と支援を求めている個人・団体との橋渡しを行いました。

(ア) コーディネート件数

	, , ,	1 11 2/							
	内訳	合計	託 児	演・芸・楽	高齢者 福 祉 関 係	障害者 福 関 係	子 子 少 年 成	イベント 補 助	その他
	本部	513	4	0	20	13	293	77	106
	吉田	0	0	0	0	0	0	0	0
±	桜島	6	0	6	0	0	0	0	0
支部	喜入	0	0	0	0	0	0	0	0
ր	松元	0	0	0	0	0	0	0	0
	郡山	46	18	12	14	0	0	2	0
	合計	565 [273]	22	18	34	13	293	79	106

(イ) コーディネート人数

内訳合計		本部	支部				
トプラン	白甫	中印	吉田	桜島	喜入	松元	郡山
コーディネート人数	1,296[806]	1,020	0	12	0	0	264

ウ ボランティア活動についての相談・助言等

ボランティア活動についての参加や依頼等の相談を受け付け、助言等を行いました。 (単位:件)

									1-1-7
	内訳	合計	活動参加	活動依頼	情報提供	保 険 · 登録内容 変 更	講師派遣、 関係機関の 紹介・案内	* スター等 掲 示頼	その他
	本部	1,978	973	172	32	543	48	15	195
	吉田	11	1	0	3	5	0	0	2
+	桜島	18	6	3	0	9	0	0	0
支部	喜入	34	3	0	1	26	0	0	4
ום	松元	22	4	0	0	9	0	0	9
	郡山	130	31	24	35	24	15	0	1
	合計	2, 193 [1, 512]	1,018	199	71	616	63	15	211

エ ボランティア団体・個人登録の推進

活動を行う団体等の登録を推進し、情報提供や橋渡しなどの支援を行いました。

th≅□	ボランティア登録件数				
内訳		合計人数			
団体数	326				
構成員人数	29,623	29, 964[34, 530]			
個人数	341				

(2) ボランティア活動の啓発・推進

ア ボランティア活動推進委員会の開催

ボランティア活動の推進とボランティアセンターの運営等について、審議しました。

開催日	内容
令和3年	・令和2年度ボランティア活動振興事業の実施報告について
6月24日	・令和3年度ボランティア活動振興事業の実施計画について

イ 各種講座の開催

名称	内容	開催回数	参加人数
ボランティア 入 門 講 座	ボランティアを始めようとする方等 を対象に講座を実施	6	112
ボランティア 出 前 講 座	学校や地域からの依頼により、職員 が出向いて講話や車椅子体験等を実施	22	1, 153
ボランティア センター講座	ボランティアセンターを会場とし て、講話や車椅子体験等の講座を実施	2	59
0 p e n i n g ボランティア 講 座	活動のきっかけ作りとして誰でも気 軽に参加できる講座を試行的に実施	8	121
	合計	38 [33]	1,445 [1,736]

ウ ボランティア活動啓発のためのイベント開催

感染症拡大防止のため、「社会人のボランティア体験事業」や市と共催する「第9回 わくわく福祉交流フェア」の開催を中止しました。

エ 広報紙「ボラセンだより」の発行

「ボラセンだより」を発行(年3回)	発行月	発行部数
し、ボランティア登録団体・個人、学校、	第68号(令和3年10月)	各15,000
公共施設等に配布しました。	第69号(令和4年1月) 第70号(令和4年4月)	合計45,000 [45,000]

オ ボランティア活動保険助成

安心してボランティア活動を行っていただくために、ボランティア活動保険加入者に対し1人当たり100円の助成を行い、保険への加入促進を図りました。

内訳	本計	人 立(7			支部		
内訳	日間	本部	吉田	桜島	喜入	松元	郡山
加入人数	6,724[7,022]	6,550	32	2	120	16	4

カ 収集ボランティアの推進

簡単に自宅でできるボランティア活動として、ペットボトルのキャップや使用済み切手等の等の収集ボランティアを推進しました。

収集品名	数值
ペットボトルキャップ(kg)	556.9
使用済み切手(kg)	20.3
書き損じはがき(枚)	1,687

キ かごしまボランティア連絡協議会への支援

ボランティア団体間の交流の促進やボランティアの資質向上を図るために活動する「かごしまボランティア連絡協議会」に対し、助成を行いました。

ク その他

内容	実施時期	参加人数等
○ 「喜入地域福祉ボランティアの集い」の支援 喜入地域の校区社協による事例発表や交流を図 るための集いを予定していましたが、感染症の影響を考慮し昨年度に引き続き中止しました。	中止	0 [0]
○ 「郡山地域ボランティア登録者の会」開催 ボランティア団体と福祉施設等のニーズ団体と の橋渡しや意見交換を行いました。	3月	ニーズ団体数: 4 ボランティア団体数:11

(3) ボランティア推進校の支援

児童・生徒が様々なボランティア活動を体験して福祉の心や社会奉仕の精神を育むことを目的に、小・中・高等学校をボランティア推進校として指定し、連絡会や研修会等を開催するとともに、活動費の助成等の支援を行いました。

ア ボランティア推進校の指定・支援

146校をボランティア推進校として指定し、支援を行いました。 (単位:校)

内訳	合計	小学校	中学校	高等学校
指定校数	146	80	44	22
累計	146[146]	80	44	22
未指定	3[3]	1	1	1

イ ボランティア推進校連絡会、ボランティアリーダー研修会等の開催

ボランティア推進校連絡会や児童・生徒のリーダー・指導者を対象とした研修会等を 開催しました。

THE C S C /C o				
内容	開催日	製 製 口 参加者		
八谷	用催口 	校数	延人数	
ボランティア推進校連絡会	令和3年 5月27日	92	92	
ボランティアリーダー研修会	7月28日	14	45	
ボランティア推進校指導者研修会	12月16日	68	68	
合計		174[175]	205[206]	

ウ サマーボランティア体験事業

ボランティア活動に関心のある児童・生徒・学生を対象に、夏休み期間中に福祉施設 で活動を体験する事業を行っていますが、今年度も感染症拡大防止のため開催を中止 しました。

エ ボランティア推進校の表彰

ボランティア推進校の中で、功績が顕著な学校を表彰しました。 (単位:校)

特別表彰	4[4] (最優秀賞) 中学校 l (優 秀 賞) 小学校 l、中学校 l、高等学校 l	
一般表彰	5[8] 小学校2、中学校2、高等学校1	

オ 児童・生徒のふれあいボランティア活動事業

小・中・高等学校の児童・生徒を対象に、ボランティア活動に取り組むきっかけづくりと活動の継続を図るため、活動の実績に応じたポイントを付与し、10ポイント貯まるごとに認定証を発行しました。

カ 「青少年ボランティア活動記録集」の作成

児童・生徒・学生によるボランティア活動を冊子としてまとめ、学校や公共施設等 に配布しました。

「青少年ボランティア活動記録集」の作成(冊) 1,000[1,000]

(4) シニアボランティア活動の支援

ア 高齢者いきいきポイント推進事業(市から受託)

介護保険施設等でのボランティア活動や健康診査の受診を行った65歳以上元気な 高齢者にポイントを付与し、生きがいづくりや健康づくりを推進しました。

登録人数		ボランティア活動	受入施設数	事業説明会
(累計)	うち新規	保険加入人数	受入施設数	回数
1,628	38	1,213	268	7
[1,590]	[19]	[1,226]	[267]	[5]

イ 元気高齢者養成講座

高齢者いきいきポイント推進事業の登録者等で、ボランティア活動実績のない方を対象に、介護老人福祉施設等における活動を体験していただいているが、今年度も感染症拡大防止のため、施設での活動は行わず、施設での活動に必要な基礎知識・技術を習得する講座を実施しました。

受講人数	受入施設数
12[30]	0[0]

(5) 災害ボランティア活動の支援

内容	概要
①桜島火山爆 発総合防災 訓練への参 加	避難所生活者の支援を想定した災害ボランティアセンターの設置・ 運営訓練を実施した。今年度も、感染症拡大防止のため参加者を20人 に制限し、マスク着用・手指消毒を徹底して行った。 (1) 開 催 日 令和4年1月8日 (2) 会 場 市立清水中学校校庭
	(3) 参加人数 本会職員 16 県社会福祉協議会職員 2 鹿児島青年会議所 2 合計 20[20]
②災害ボラン	ボランティア登録者や本会職員を対象にした災害ボランティア研修
ティア研修	会を開催した。
会の開催	第1回 開催日 令和3年10月15日
	会 場 かごしま市民福祉プラザ5階大会議室 参加人数 89[56]
	第2回 開 催 日 令和4年2月17日 ※まん延防止等重点措置期間のため中止とした。
③災害ボラン	他都市の災害時に、被災地の災害支援を行うボランティアの活動を
ティアバス	支援するために災害ボランティアバスを運行する予定でしたが、想定
の運行	される大災害が発生しなかったため、運行しなかった。

5 権利擁護の推進

成年後見センター運営業務(市から受託)

認知症や知的障害、精神障害等により判断能力の不十分な方々が、自分らしく安心して暮らすことができるよう「成年後見制度」に関する相談、制度の利用支援、広報啓発を行いました。

ア 開館日数・相談状況

ĺ	開館日数	相談件数		
	開館日数	相談件数	新規	継続
	242 [243]	817 [690]	445 [403]	372 [287]

(相談の内訳)

(作はおんしフトナコバ)	
相談者	件数
本人	54
親族	335
知人・近隣者	26
民生委員	6
地域包括支援センター	36
居宅介護支援事業所	80
障害者基幹相談支援センター	9
障害者相談支援事業所	39
医療機関	107
福祉施設	45
法律職	16
行政機関	45
後見人等受任者	6
その他	13
合計	817 [690]

相談対象者(本人)	件数
高齢者	516
知的障害	80
精神障害	113
不明・その他	108
合計	817 [690]

※「不明・その他」とは、電話による相談で本人の状況が確認できないもの等をいう。

相談方法	件数
電話	550
来所	214
訪問	48
その他	5
合計	817 [690]

※その他はリモート等による。

○内容別(重複あり)

	内容	件数	合計
	成年後見制度に関すること	460	
	申立手続に関すること	430	
	申立人に関すること	162	
	後見人等に関すること	268	
	申立・報酬費用に関すること	163	1 001
相談員相談	財産管理に関すること	79	1,901 [1,194]
	身上監護に関すること	44	[1, 134]
	権利侵害に関すること	3	
	市長申立てに関すること	47	
	研修等に関すること	11	
	その他(他団体へのつなぎ等)	234	
	申立支援	9	
	債務整理	1	
専門職相談 (弁護士・司法書士 によるもの)	相続手続	9	35
	財産の処分	1	[33]
	訴訟手続等	0	
	その他(制度利用等)	15	
合計			1,936 [1,227]

○専門ケース会議

総合的な専門的知見が必要な事案について、市や専門職団体等を構成メンバーとする 会議を開催し、成年後見制度の必要性や適切な支援内容を検討し相談者に助言を行いま した。

開催数	事案数
5	5

イ 成年後見制度に関する広報及び啓発

○講演会、講座の開催

内訳	内 容	開催日	参加人数
講演会	「成年後見制度」講演会 演題:「笑って納得!成年後見笑百科!!」 講師:渋井保之氏(元裁判所首席書記官)	令和3年 10月30日	117
	【制度を初めて学ぶ方対象】 ①「成年後見制度の概要と申立てについて」 講師:田中喜久氏(司法書士) ②「後見人の業務について」 講師:毛利満則氏(社会福祉士)	11月20日	89
講座	【制度の理解を深めたい方対象】 ①「成年後見制度の概要及び後見人活動の実際」講師:伊藤俊介氏(弁護士) ②「家庭裁判所の役割と手続きについて」講師:立和名智子氏、鵜木浩史氏(鹿児島家庭裁判所) ③「後見人活動の実際」講師:牧山千鶴子氏(社会福祉士)	11月30日	92

○訪問等による広報

施設・病院等を訪問し、成年後見センターの紹介や成年後見制度の説明等を行いました。また、感染症対策のため訪問できない施設等には、成年後見センターのパンフレットを送付しました。(136施設等に送付)

訪問先	訪問数
居宅介護支援事業所	23
病院	31
高齢者関係施設(特別養護老人ホーム等)	12
障害者関係施設(相談支援事業所等)	5
合計	71

ウ 成年後見制度利用促進に関する業務

成年後見制度推進協議会の運営【新規】

成年後見制度の利用促進等についての意見交換、情報共有等を図るために新たに設置された成年後見制度推進協議会の運営を市とともに行いました。

内容 令和2年度鹿児島市成年後見センター運営状況報告

令和3年度鹿児島市成年後見センター運営業務計画

令和3年度鹿児島市成年後見センター運営状況報告(令和3年10月時点)

6 介護認定調査の実施(市から受託)

介護認定調査員が、介護保険申請者の自宅等を訪問し、本人や家族等から心身の状況等について聞取り等の調査を行う介護認定調査事業等を実施しました。

○介護認定調査

102 1		
内容		件数
受	託	27,852
調	査	26, 497[26, 548]
取下	げ等	627
次年	度繰越	1,296

○介護保険主治医意見書送付回収

内	容	件数
受	託	28,693
回	収	28,514[28,199]
取下	げ等	824
次年	度繰越	296

7 心身障害者(児)福祉活動の推進

障害のある方々の生活の充実のために、心身障害者総合福祉センターにおける事業等を 実施しました。

(1) 地域活動支援センター運営事業(市から受託)

身体障害者等の自立の促進、生活の質の向上を図るため、心身障害者総合福祉センターにおいて機能訓練や講座等を実施しました。

ア機能訓練実施状況

登録人数	実施回数	延利用人数
9[9]	76[92]	295[426]

イ 各種講座開催

	内容	開催回数	登録人数	延受講人数
	料理講座	16	14	125
	点字講座	11	9	77
	点字パソコン講座	19	11	115
	手話講座	20	12	116
	カラオケ講座A	15	13	103
	カラオケ講座B	25	25	296
	民謡講座	16	13	154
	三味線講座	21	7	98
通年	洋裁講座	21	10	122
講座	大正琴講座	18	7	64
	生花講座	18	4	49
	茶道講座	20	8	132
	舞踊講座(休講中)	_	_	_
	卓球バレー講座A	43	18	396
	卓球バレー講座B	21	15	92
	太極拳講座	21	9	81
	書道講座	21	12	163
	合計	326[377]	187	2, 183[2, 886]
	卓球	7	12	71
短期	フライングディスク	6	11	43
講座	ボッチャ	7	14	54
144-44	合計	20[31]	37	168[264]

備考 感染症拡大に伴う県独自の「緊急事態宣言」及び「まん延防止等重点措置」 により、8月14日から9月30日まで全ての講座を中止、その後、感染者の状況 を見ながら講座の休止や実施時間の短縮等の感染予防対策を実施

ウ 身体障害者交流会

感染症拡大防止のため「身体障害者交流会」は中止しました。

エ 送迎サービス(身体障害者福祉バス等運行状況)

運行回数	延利用人数
916[1,098]	2,974[3,731]

(2) ことばの発達指導事業(市から受託)

ことばの発達上指導が必要な幼児(3歳~就学前児)に対し、ことばの発達指導を行い、併せてその保護者に助言しました。

開設日数	利用者数			
州政口奴	们用有奴	実人数	延人数	
222	相談	34	517	
$\begin{bmatrix} 228 \end{bmatrix}$	指導	15	466	
[220]	合計	49[56]	983[1,062]	

備考 感染防止のため、洗口液を使用して事前にうがいをするなどの対策を実施

(3) 福祉機器リサイクル事業(市から受託)

市民から無償で提供された車椅子等を、必要とする方へ無料であっ旋しました。

内訳	提供登録件数	譲受登録件数	引渡完了件数
車椅子	25	36	24
歩行補助用具	40	27	25
特殊寝台	4	6	3
エアーパッド	0	0	0
合計	69[89]	69[76]	52[57]

(4) 利用者相談・支援等事業(市から受託)

心身障害者総合福祉センターの利用者の相談に応じるとともに、情報提供や助言、必要な福祉サービスの利用支援等を行いました。

内訳	延相談人数		
更生相談	27[29]		
健康相談	837[750]		
計	864[779]		

(5) **障害者IT講習会開催事業**(市から受託)

パソコンの基本的操作や文字入力、インターネットでの検索、電子メールの送受信等 の技術を習得する障害者向けの講習会を開催し、社会参加への促進を図りました。

開設講座数	16 (パソコン基礎、エクセル基礎等) [17]				
受講者人数	肢体・内部	聴覚	視覚	精神	合計
(障害種別)	26	4	2	0	32[49]

備考 感染症拡大に伴い8月14日から9月30日までは講座を中止

(6) 在宅重度中度心身障害児に対する見舞金贈呈

歳末たすけあい募金配分金から、民生委員・児童委員を通じて見舞金を贈呈しました。

対象	贈呈者人数	見舞金
在宅重度中度心身障害児(1・2級)	634[635]	1人3,000円

(7) 障害者団体に対する助成(再掲)

県視覚障害者団体連合会が主催した第67回全国視覚障害女性研修大会に対して、助成 を行いました。

8 高齢者福祉活動の推進

高齢者の方々が生きがいを持って安心して暮らせるために、安全杖の有償提供等を実施 しました。

(1) 高齢者安全杖有償提供事業

身体(下肢)が不自由で歩行困難な65歳以上の高齢者に対し、日常生活の安全と生活行動の範囲を広げる一助として、民生委員・児童委員の協力のもと、安全杖を有償(自己負担額500円)で提供しました。

da≓□	스타	十分リエム	支部				
内訳	白浦	本部ほか	吉田	桜島	喜入	松元	郡山
本数	938[1,011]	793	21	10	34	42	38

(2) 高齢者クラブへの助成(再掲)

自主的に福祉活動に取り組んでいる高齢者クラブに対して、助成を行いました。

(3) 在宅の寝たきりの高齢者に対する見舞品贈呈

- 歳末たすけあい募金の配分金を活用して、在宅の寝たきりの高齢者の方々に、民生委 員・児童委員を通じて見舞品を贈呈しました。

内容	贈呈人数
大判バスタオル	1,635[1,653]

9 施設の管理運営

(1) 福祉コミュニティセンター

高齢者や障害のある方々の相互交流を図り、生きがいと健康づくりを支援するため、 温泉入浴、健康相談、教養講座等のサービスを提供し、市民福祉の向上に努めました。

ア 開館日数・利用状況

開館日数			延利用人数		
1/11/11 H 3/	うち温泉入浴		Z=13/13/15X		1日平均
		温泉入浴	(高齢者)	20,072	78.1
		血氷八 份	(障害者)	5,928	23.1
261	257	その他(会議室、	教養講座等)	14,436	55.3
		Δ	計	40,436	154.9
		Ξ	ĦΙ	[44,555]	154.9

備考 感染症拡大に伴う県独自の「緊急事態宣言」及び「まん延防止等重点措置」 により、8月14日から9月30日まで、会議室の予約を除き温泉入浴施設及び各 種教養講座・自主講座は臨時休業

イ 健康相談の開催状況

開催日数	延相談人数
86	1,741[1,760]

ウ 各種講座

H 1241742				
種別	講座	講座 回数 延受		講人数 合計
	華道	21	184	
教養講座 教養講座	茶道	21	155	961
	さつま狂句	21	263	[1,366]
	囲碁	20	359	
センター主催	コミセン短期講座	11	89	178
してスター主催	らくらく体操教室	19	89	[134]

備考 感染症予防として、定員を削減しました。

エ 会議室等の貸出し状況

件数	延利用人数
277	10,139[10,535]

(2) 高齢者福祉センター(市から指定管理)

高齢者の方々の相互のふれあいと交流を深め、生きがいと健康づくりの増進を支援しました。

ア 開館日数

施設	与次郎	東桜島	谷山	桜島	郡山	吉野	伊敷
日数	257	257	257	257	257	257	257

備考1 感染症拡大に伴う県独自の「緊急事態宣言」及び「まん延防止等重点措置」 により、8月14日から9月30日まで臨時休館

2 施設整備等に伴う浴室(水着浴室含む)の臨時休業の日は、次のとおり。

施設	時期	日数
与次郎	令和3年12月2日~12月5日	4
吉野	令和3年11月1日~令和4年1月31日(水着浴室)	71
桜島	令和4年1月26日	1

イ 利用人数

内	訳	与次郎	東桜島	谷山	桜島	郡山	吉野	伊敷
浴室		34, 180 (133. 0)	10,070 (39.1)	41,886 (163.0)	3,575 (14.0)	_	36,134 (140.6)	31,107 (121.0)
水着	浴室	_		26,357 (102.6)			24, 961 (134. 2)	_
浴室	・水着	22,626	711	61,057	11,456	3,630	32,794	37,043
浴室	以外	(88.0)	(2.8)	(237.6)	(44.6)	(14.1)	(127.6)	(144.1)
合	計	56,806	10,781	129,300	15,031	3,630	93,889	68,150

備考1 ()の数字は、1日当たりの平均人数 2 浴室・水着浴室以外の利用については、次表のとおり。

	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
与次郎	集会室、教養講座室、トレーニング室、娯楽室、カラオケ室等
東桜島	休養室、集会室、会議室等
谷 山	トレーニング・レクリエーション室、集会室、娯楽室等
桜 島	集会室、教養娯楽室、屋根付ゲートボール場等
郡山	大広間、会議室、娯楽室、ゲートボール場、調理室等
吉 野	トレーニング・レクリエーション室、集会室、多目的室等
伊敷	トレーニング・レクリエーション室、娯楽室、多目的広場等

3 利用人数の前年度実績

l	与次郎	東桜島	谷山	桜島	郡山	吉野	伊敷
	62, 145	11,971	147,536	17,546	3,650	121,903	79,985

ウ 教養講座の開催状況

施設	内容	回数	延受講人数	合計
	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5	67	
	前りンパマッサージとお灸	5	62	
		5	61	
	楽しく指す将棋	9	80	0.00
与 次 郎	ストレッチ	9	112	808 [771]
	後ペン習字	9	101	[771]
	後 ペン習字 期 私だって描けるよ!絵手紙	9	111	
	脳活!健康体操	9	102	
	生き生き川柳入門	9	112	
古 4)/ 白	健康体操	7	81	157
東桜島	健康レクリエーション講座	7	76	[132]
	かごっま(鹿児島)弁講座	10	79	
	生活にエコクラフトを	10	50	E C 1
谷 山	シニアからの筋力づくり	10	174	561 [695]
	心と体の気功教室	10	100	
	ペン習字を楽しもう	10	158	
	いきいき健康体操	10	84	
桜島	楽しいグラウンドゴルフ	10	294	_530_
1久 西	エコクラフト(初級)	10	40	[539]
	エコクラフト(中級)	10	112	
	季節の家庭料理	8	83	
郡山	楽しく歌う昭和歌謡	8	212	454
11 PH	生き生き脳若返り	8	81	[581]
	理学療法士による健康づくり	8	78	
	楽しい唱歌	9	130	
<u></u>	脳活!健康体操	10	132	621
吉野	実用ボールペン習字	10	98	[625]
	できあがりが楽しみエコクラフト	10	139	
	はじめての太極拳	10	122	
	脳活!健康体操	10	132	
/二· 畫4·	やさしいヨガ! 黄み軒を楽しわ会	10 10	122	490 [620]
伊敷	英会話を楽しむ会		35	
	趣味でいい人生を送る囲碁を楽しもう	6	89	
	歌をうたって免疫力を高めましょう♪	10	112	

エ 健康相談の開催状況

	施設	与次郎	東桜島	谷山	桜島	郡山	吉野	伊敷
Ī	回数	5	10	6	6	5	11	5
Ī	延相談人数	15[21]	85[123]	28[30]	141[180]	11[10]	49[51]	22[23]

オ その他

施設			回数	参加人数	合計
	第1回将棋		1	7	
		- 脳の元気づくり	1	16	
	ガーデニン	· グ入門	1	16	
	たくちゃんの	「鹿児島こげなこっがあいもした」	1	19	
L. V. 40	軽量粘土で	作るバラのウォールフック	1	13	550
与 次 郎	大正琴演奏		1	14	[220]
	センター与	次郎ゲーム大会	1	195	
	健康講演会		1	25	
	与次郎まつ		1	234	
	サッカーJ	リーグ開幕	1	11	
	遊楽筆ペン	·講座	1	20	
	すっきり暮	らしの収納術	1	19	
	交通安全講		1	8	
	リフレッシ	′ュ健康体操	1	16	1,809 [2,238]
谷 山		ーツで健康づくり	1	15	
		飾り付け交流会	1	35	
		お楽しみ抽選会	1	331	
		り(展示)	1	185	
	水中エアロ	ビクス運動指導	51	1,180	
桜 島	高齢者福祉セ	ンター桜島杯ゲートボール大会	1	46	46[50]
		郷土料理	3	28	
		生き生き脳若返り	3	36	
	ふれあい	楽しく歌う昭和歌謡	3	44	256
		手足からの健康づくり	2	20	
	教 室	楽しいお菓子づくり	2	15	[234]
郡山		理学療法士による健康づくり	3	50	
		たのしい絵手紙	5	42	
		さわやかリズム体操	2	21	
	生き生き	高齢者の健康づくり	1	9	28
	元気講座	レクリエーションわくわく教室	1	18	[23]
	儿刈冊座	冬場の健康管理	1	1	[23]
よかよか体操			43	653	
吉野	水中運動の効果と実践方法について 自主講座活動状況展示及び作品展示	1	6	1,633	
니 되			1	308	[2,089]
	水中運動指導		33	666	
		どいの広場との共催交流イベント	10	374	481
伊 敷		木彫りの会」作品展示	1	95	[373]
	交通安全教	(室	1	12	[313]

備考1 センター与次郎ゲーム大会は11月30日から12月4日まで、与次郎まつりは 令和4年2月15日から3月4日まで実施

- 2 伊敷の共催交流イベントは、西部親子つどいの広場の利用者を含む。 3 伊敷の「木彫りの会」展示は7月15日から8月5日まで実施

(3) 心身障害者総合福祉センター(ゆうあい館)(市から指定管理)

心身に障害のある方々に対し、ふれあいと自立活動を通じて、福祉の増進や社会参加 の意欲向上を図るため、研修、相談、教養、レクリエーションの場を提供しました。

開館日数	延利用人数		1日平均
	会議室等	15,361	49.9
	体育館	5,380	17.5
308	相談室	864	2.8
300	団体事務室、小規模作業所	12,804	41.6
	見学(ボランティア、実習生を含む。)	515	1.7
	合計	34,924 [41,340]	113.4

備考 感染症拡大に伴う県独自の「緊急事態宣言」及び「まん延防止等重点措置」により、8月14日から9月30日まで、利用者相談・支援事業、ことばの発達指導事業、福祉機器リサイクル事業を除き施設の利用及び事業を休止

(4) 吉田福祉センター(市から指定管理)

地域における福祉活動の拠点及び地域住民のコミュニティづくりやボランティア活動 の場として、広く市民に利用していただくための運営に努めました。

ア 開館日数・利用状況

1		
開館日数	延利用人数	
	些 利用八数	1日平均
297	5,815[6,181]	19.6

イ センター講座開催状況

内容	回数	延受講人数
ツボで元気に!意外と簡単お灸講座	4	48
筋膜リリースで老化防止ボディメンテナンス体操講座	4	57
親子でリンパマッサージ講座	1	7
大人かわいい絵手紙ポップアート講座	4	31
親子で作るしめなわ飾りエコクラフト講座	2	33
心と体をリラックスさせるアロマテラピー講座	4	42
親子で楽しむハーブとアロマ講座	1	6
合計		224[197]

(5) 地域福祉館(市から指定管理)

福祉館イベントや福祉館サロン等を実施するとともに、趣味団体等の利用促進を図り、地域福祉館(41館)の有効活用に努めました。

ア 開館日数・利用状況

	延利用人数		
開館日数	41館合計	1館当たり平均	1日平均
344	504, 467[539, 252]	12, 304	35.8

備考 感染症拡大に伴う県独自の「緊急事態宣言」及び「まん延防止等重点措置」 により、8月14日から9月30日まで児童ルームの利用を休止(その他は条件付 き利用)、8月17日から18日、20日は、避難所開設に伴い臨時休館

イ 「福祉館だより」の発行

「福祉館だより」を41館それぞれで年4回発行し、町内会を通じて配布しました。

発行時期	部数
第47号(令和3年4月)	16,000
第48号(7月)	16,000
第49号(10月)	16,000
第50号(令和4年1月)	16,000
合計	64,000[64,000]

ウ 福祉館イベントの開催

「七夕まつり」「福祉館まつり」「趣味活動グループの作品展」等、地域独自のイベントを開催しました。

回数	参加人数	
44[34]	2,906[3,654]	

工 自主講座開催状況

地域福祉館主催の講座を開催しました。なお、男の調理教室及び女性の調理教室は 感染症の影響により応募者がなかったため、開催しませんでした。

内容	開催館数	回数	参加人数
ボランティア出前講座	3[4]	3[4]	61[89]
理学療法士による出前講座	2[3]	2[3]	36[73]

10 生活福祉資金貸付事業 (県社会福祉協議会から受託)

生活福祉資金貸付・債権管理強化事業

生活福祉資金等の借入相談や申請受付、払込票等の発送を行いました。

ア 貸付状況

(7) 生活福祉資金

市内に居住し、市民税・県民税が均等割課税以下の世帯等に対し、経済的自立や社会参加の促進、生活の安定を図るため、生活福祉資金の貸付を行いました。

代什件粉		伐丹 (4 円)	
貸付件数	うち特例貸付	貸付金額(千円)	うち特例貸付
7,947	7,751	3,415,963	3, 352, 650
[14,073]	[13, 853]	[5, 137, 516]	[5, 081, 130]

備考 「特例貸付」とは、感染症の影響を踏まえた生活福祉資金貸付制度における緊急小口資金等の特例措置によるもの。

(イ) 離職者生活支援つなぎ資金

住居のない離職者が、公的給付制度等の給付又は貸付を受けられるまでの生活費の 貸付を行う事業で、借入相談等を行いました。なお、貸付実績はありませんでした。

貸付샖数	ΓΩΊΩ
貝们什奴	0[0]

(ウ) 償還指導等の状況

未収債権解消のため、払込票等の発送を行いました。

イ 借入相談等の状況

(単位:件)

場所合計		内訳			
		合計	借入相談	借受人・	民生委員の
				保証人の相談	償還指導等相談
市行	设所分室	11,725	11,725	0	0
谷L	山出張所	488	488	0	0
+	吉田	21	20	0	1
	桜島	8	8	0	0
支部	喜入	17	17	0	0
디디	松元	35	31	4	0
	郡山	13	13	0	0
	合計	12,307 [18,395]	12,302	4	1

11 共同募金運動への取組

令和3年10月から12月までの3か月間、県共同募金会鹿児島市共同募金委員会が実施する赤い羽根共同募金運動に協力しました。

種別	実績額(円)	備考	
戸別募金	35, 053, 515		
街頭募金	2,812,562		
法人募金	8,882,708	「街頭募金」は、26か所で実	
学校募金	1,912,937	施し、延べ81回、2,572人が	
職域募金	3, 383, 046	参加しました。	
その他募金	1, 387, 657		
合計	53, 432, 425 [54, 997, 663]		

12 広報活動

(1) 広報紙の発行、ホームページによる情報提供

ア 「かごしま市社協だより」及び「音声版社協だより」の発行

発行時期	部数		
光刊时期	広報紙	音声版	
第141号(令和3年10月)	32,000	180	
第142号(令和4年1月)	28,500	180	
第143号(令和4年4月)	28,500	180	
合計	89,000[84,000]	540[540]	

イ ホームページによる情報提供

写真等の画像を多用して内容等の充実を図るとともに、事業や発信したい情報の随時更新に努めました。

(2) 市広報紙「市民のひろば」や報道機関等の活用

各種イベントや講座の案内等の情報を「市民のひろば」へ掲載するとともに、新聞社 等報道機関への取材依頼を行いました。

(3) 社協出前講座の実施

本会の活動に対する理解を深めていただくため、職員が市民の開催する集会等に出向き、事業についての説明を行いました。

テーマ	件数	実施課
共同募金に関すること	1	企画総務課
校区社協活動に関すること	1	地域福祉推進課
福祉ネットワークに関すること	7	地域価性推進床
成年後見制度に関すること	14	成年後見センター
生活福祉資金に関すること	2	市役所分室
合計	25[27]	

13 法人の運営

(1) 理事会及び評議員会の開催(再掲)

事業計画及び事業報告、規程改正等重要な事項について審議するため、適宜、理事会及 び評議員会を開催するとともに、業務執行状況や会計について監事等による監査を受け ました。

(2) 自主財源の確保

ア 財源の有効活用

適正な人員配置、基金や積立金による効果的な資金運用、物品発注時の見積もり合わせ等の徹底、室温管理・クールビズの導入等による節電対策の実施等により、限られた財源の有効活用に努めました。

イ 寄附の受入れ

多くの方々から地域福祉の増進のための寄附をいただきました。

種別	件数	受入額(円)		
一般寄附	95[117]	13, 326, 637[30, 634, 735]		
香典返し寄附	24[27]	1,440,000[628,000]		
物品寄附	50[47]	4,964,390[3,465,820]		

備考1 物品寄附の受入額は、金額換算したもの。

物品寄附の内容	件数
コピー用紙	12
はがき類	6
紙おむつ	5
車椅子	5
書籍等	4
消毒液	3
高齢者用杖	2
生理用品	2
食品	2

物品寄附の内容	件数
囲碁盤・碁石	2
車両	1
加湿空気清浄機	1
シャワーベンチ	1
マスク	1
文房具	1
エコバック	1
卓球バレー用ボール	1

ウ 本会会員の拡充

本会会員を拡充するためにチラシやホームページ等による広報を行うとともに、各種団体や法人等への訪問依頼を行い、多くの市民や事業所等に会員として支援をいただきました。また、より分かりやすくするために会員種別の見直しを行いました。

種別	加入数	実績額(円)
一般会員(年額 1千円以上)	2,320人	3, 123, 000
団体会員(年額 2千円以上)	61団体	237,000
法人会員(年額 5千円以上)	562事業所	4,807,000
合計	8, 167, 000[8, 115, 000]	

(3) 職員の資質向上

マスク着用や消毒などの感染防止対策を徹底したうえで、内部研修やオンライン会議システムを活用した外部研修等により、職員の資質向上に努めました。

ア 主な研修会等の実績

テーマ・内容	開催日	参加人数
社会福祉施設等新任職員研修	令和3年	2
	5月19日、20日	
災害ボランティアセンター運営支援ボランティア	7月12日	3
養成講習会	1)112 [J
eラーニング研修(情報セキュリティなど)	6月15日	2
市町村社会福祉協議会事務局長研修会	8月12日	1
全国福祉教育推進員研修	9月6日	1
福祉サービスに関する相談・苦情解決事業研修会	9月28日	4
シニアボランティア講座	9月28日	1
カウンセリング研修	9月7日、8日	1
社会福祉施設等中堅職員研修	7月27日、28日	1
社会福祉施設等監督職員研修	9月1日	1
職場内研修担当者研修	10月7日、8日	1
介護サービス事業管理職員等研修会	9月21日	1
第1回制度改正等説明会「重層的支援体制整備事	10月4日	7
業オンラインセミナー」	10万年日	1

テーマ・内容	開催日	参加人数
福祉ビジョン21世紀セミナー	11月1日	2
職員全体研修会(職場でのハラスメントとその対	11月17日	68
応)	12月10日	66
市町村社会福祉協議会連絡協議会職員研修	令和4年2月9日	2
スキルアップ研修(文章力向上)	2月15、16日	35
社会福祉協議会活動全国会議(オンライン)	3月14日	2
階層別(課長・所属長)職員研修	3月11日	17
コミュニティワーカー研修会(基礎編・実践編)	1月18日、19日	1
ボランティアコーディネーター・ボランティア担 当職員セミナー	令和3年11月4日	1
あんしん・安全ネットワークオンラインセミナー	11月11日	9
被災地に寄り添う災害ボランティアセンター運営 研修会	11月22日	1
各種相談員研修会	11月25日	7
かごしまおもいやりネットワーク事業相談員・コ ミュニティワーカー研修会 (オンライン)	令和4年1月24日	1
「広がれボランティアの輪」連絡会議 勉強会	2月2日	1
重層的支援体制整備構築推進人材養成事業ブロック別研修(オンライン)	2月3日	1
成年後見制度利用促進体制整備研修(応用研修)	2月17日、18日、 21日	2
鹿児島市災害時協力協定団体等意見交換会	2月21日	1
市民の参加と協働を進める多様なコーディネーション 実践研究集会2022	2月26日、27日	1
重層的支援整備体制連絡会(オンライン)	3月4日	2
後見人等への意思決定支援研修(オンライン)	3月4日	3
制度改正等説明会	3月15日	4
合計		253 [446]

イ 地域福祉館職員の研修実績

	目1/4:	分 4n 1 米h
テーマ・内容	開催日	参加人数
ハラスメント防止研修	令和3年4月7日	41
①児童虐待から子どもを守ろう	5月25日、26日	122
②青少年の健全育成をめざして	0/12011 201	100
アンガーマネージメント研修	6月8日	41
新任職員研修	6月17日	39
	6月22日、23日	
普通救命救急講習	7月15日、16日	235
	11月5日	
①みんなでつくる!セーフコミュニティかごしま		
②認知症の人も住み慣れた地域で暮らし続けられ	10月6日	41
る地域づくり		
	11月17日、18日	
 「聞く力」(傾聴)	12月7日	237
	令和4年	431
	3月15日、16日	
①マイナンバー制度	3月16日、17日	123
②地域情報化への取組み	9月10日、11日	143
合計		879
口前		[977]

第4 相談・苦情の処理状況

内容	受付件数			処理状況	
内谷	相談	苦情	合計	解決済	未解決
説明・情報不足	2	14	16	16	0
職員の態度	0	8	8	8	0
サービス内容	12	24	36	36	0
権利侵害	0	0	0	0	0
その他	15	14	29	29	0
合計	29	60_	89	89_	0
н п	[49]	[57]	[106]	[106]	[0]